

① かくれ湯に五十路の娘等（こら）と
短夜（みじかよ）な

② 新涼や 風に誘はれ 筆を執る
③ 庭だより 温気に籠る

花枇杷（びわ）の香

④ 虫の目に 千の夏日の 燃ゆるべし
⑤ 百日紅（さるすべり） 散り咲散りて
日々すぎぬ

⑥ ヤブガラシ 玉虫抛る花 空平らか
⑦ でかしたぞ ゐびつなれども
西瓜の実

⑧ 藤に伏し 火照る身体（からだ）に
秋の風

⑨ 残暑なお 虫の音しみる 夜の闇
⑩ 清々（せいせい）と 風の撫でゆく
稲穂波（いなほなみ）

⑪ 轟（ごう）流を カヌーす
子等（こら）の 声響き

⑫ 草葎（むぐら） 藪（やぶ）漕（こ）ぎで
識（し）る 種の在処（ありか）

⑬ ホームより 見上ぐる空に 秋一つ
⑭ 虫の声 しづけさ満ちて 窓の月
⑮ 遠花火 響きに坂を 駆け上る